

カルシユの足跡を追って

◇13◇

若松 秀俊

裕福な家庭の子供が通学、後に理科系に移った。王立の小学校を終えたので、大学入学までに他フリッツは、当時として人より長い時間を要し、向転換していたし、当時は珍しく、大学進学を目した。

指して上級学校であるギムナジウムに通うことになった。ドイツのギムナジウムは、日本でいえば、中学校から高校までに対応する学校である。

一九一四年三月十三日にギムナジウムの卒業発表会が行われたが、フリッツは英語での講演を義務づけられていた。このときフリッツは二十一歳

生い立ち

(下)

戦争経て哲学に関心移る

関連科目の勉学を開始し、学友らとともにドイツ帝国の電

が、世の中が不穏な時期にあつて、間もなく

このとき、理由は不明だが日本語でいえば義侠心からなのか、彼は自ら



ブラゼヴィツ職業ギムナジウム年報

ト・アム・マインの北八〇キに位置する宗教の都市でもあり、ライン支流

この地は随一の宗教聖地となっている。また図書館の豊富な大学町

（東京医科歯科大学大学院教授）

文中敬称略